会議録

北島町議会

令和４年第４回定例会は、１２月９日に開会され、１２月２０日に閉会いたしました。

町長提出議案として「北島町議会議員及び北島町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正について」など１０議案、議員提出議案として「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

議案第６２号　北島町議会議員及び北島町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正について

公職選挙法施行令の改正に伴い、選挙運動用自動車の使用等の公営に要する経費に係る限度額を変更するため、改正するものです。　**原案可決**

議案第６３号　定年前に退職する意思を有する職員の募集及び認定に関する条例の一部改正について

地方公務員の定年が国家公務員の定年を基準として条例で定めるものとされていることを踏まえ、北島町職員の定年を６０歳から６５歳まで段階的に引き上げるようとすることに伴い、定年前に退職する意思を有する職員の募集の適用対象となる年齢の下限を維持するため、改正するものです。　**原案可決**

議案第６４号　北島町職員の定年等に関する条例の一部改正について

地方公務員の定年が国家公務員の定年を基準として条例で定めるものとされていることを踏まえ公布された、地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、北島町職員の定年等に関し必要な措置を講じるため、改正するものです。

原案可決

議案第６５号　地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備について

地方公務員の定年が国家公務員の定年を基準として条例で定めるものとされていることを踏まえ公布された、地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例を整備するものです。　**原案可決**

議案第６６号　北島町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

幼稚園完全２年保育に向け園長手当の支給等に関する規定を整備するものです。

原案可決

議案第６７号　北島町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について

北島町中村地区地区計画区域の一部追加に伴い、区域内における建築物の制限に関する規定を改正するものです。　**原案可決**

議案第６８号　令和４年度北島町一般会計補正予算（第６号）

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ１億５，１７９万１千円を追加し、歳入歳出の総額を９５億５，１８２万５千円とするものです。

主な歳入については、新型コロナウイルスワクチン接種に係る国庫支出金１億７１１万８千円、普通交付税４，２００万円を追加しております。

主な歳出については、民生費の国保特別会計繰出金７６２万５千円、子育て世帯生活支援特別給付金事業費の国庫負担金精算に係る返納金１，３４２万円、衛生費の新型コロナウイルスワクチン接種関連事業費１億７１１万８千円を追加しております。　**原案可決**

議案第６９号　令和４年度北島町国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（第

２号）

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ７６２万５千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ２１億５９７万４千円とするものです。

歳入については、繰入金７６２万５千円を追加し、歳出については、諸支出金２３０万７千円、予備費５３１万８千円を追加しております。　**原案可決**

議案第７０号　北島町道路線の認定について

開発道路（公共施設）設置基準に関する要綱に基づき設置された３路線について、公共施設として町道認定を受けようとするものです。　**原案可決**

議案第７１号　令和４年度北島町一般会計補正予算（第７号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ３，３０２万７千円を追加し、歳入歳出の総額を９５億８，４８５万２千円とするものです。

主な歳入については、出産・子育て応援交付金に係る国庫支出金２，２５５万円、県支出金４６０万２千円を追加しております。

主な歳出については、出産・子育て応援交付金事業費３，１９０万７千円を追加しております。　**原案可決**

議案第７２号　不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書

国において、不登校支援の一部である多様な学習機会を確保するための具体的対策が講じられるよう、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出するものです。

原案可決

一般質問

町政全般にわたる一般質問は、夷谷大輔議員、梶　哲也議員、橋本典幸議員、佐々木紀子議員、武山光憲議員、板東泰史議員、伊勢政二議員、増谷禎通議員で大要は次のとおりです。

夷谷大輔議員

（質問１）ゼロカーボンシティに向けて

ヒマワリを使い、再生可能エネルギーを捻出してはどうか。バイオディーゼル燃料として使用したり、ヒマワリ油をふるさと納税返礼品に登録することで北島町の可能性も広がると考えるが、どうか。

（答弁）中西まちみらい課長

現在、町では花の種を配布し休耕田に蒔いてもらう花づくり協働事業を行っている。この中で農業関連団体とも連携し、ヒマワリ栽培など、新しい取り組みができないか研究していきたい。

（質問２）食育と農育

学生さんたちが自ら種まきから始め、地域の農家・老人クラブの方々にご協力いただきながら収穫し、またそれを販売するすることを提案したい。

（答弁）森本教育委員会事務局長

現在、小学校では、野菜の収穫体験を実施している。今後は生産者や関係機関との連携を図りながら収穫に至るまでの過程を学び体験できる機会を設けたいと考えている。

野菜の販売については、関係機関と協議しながら調査・研究を進めていく。

（質問３）新たなブランド開発を

町のレンコンや鳴門金時などを使い、地域の方々や事業者の協力を得ながら町職員・管理栄養士などを中心に、町の新たなブランドを開発してはどうか。

（答弁）中西まちみらい課長

新たなブランド認定商品を発掘できるよう、地元の農産物を材料にした加工品も含めた新しい商品や、ふるさと納税返礼品の研究開発にも取り組んでいきたい。

梶　哲也議員

（質問１）庁舎内のＷｉ―Ｆｉについて

自治体のＤＸ化を進めるなかで、庁舎内のＷｉ―Ｆｉ化は、避けて通れない。来庁者の窓口での待ち時間においても住民サービス向上になると考える

が、見解を聞きたい。

（答弁）藤高総務課長

住民向け窓口サービスのオンライン化等の状況を踏まえ、Ｗｉ―Ｆｉ環境等の整備についても総合的に検討していく。

（質問２）公園等の屋外トイレの管理について

公園の屋外トイレにおける現在の管理状況と、清掃頻度について聞きたい。

（答弁）片岡建設課長

公園のトイレ清掃は、１業者と委託契約し、１３ケ所の公園を利用状況や大きさに応じて週１回から月１回清掃している。

（質問２）②

清掃頻度を増やすことを検討してはどうか。

（答弁）片岡建設課長

利用状況を再確認し、清掃回数や委託業者を増やすことで公園美化に努めていく。

（質問３）北島水辺交流プラザ休憩施設について

水辺交流プラザ休憩施設「アクアプラザ」は、釣りなどで町外や県外からの訪問者が多い。施設内でふるさと納税の品目などの販売スペースを設けてはどうか。

（答弁）中西まちみらい課長

アクアプラザの来年度から選定する新たな管理者には、ふるさと納税の返礼品を紹介する内容も含めた、地域の活性化について提案していきたい。

（質問４）広報について

町報、ホームページ、ＬＩＮＥなど様々な媒体があるが、広報の費用について聞きたい。

（答弁）藤高総務課長

総務課における令和４年度予算として、町報関連経費６６７万円、ホームページ管理費９３万４千円、ＬＩＮＥ管理システム使用料３９万６千円、四国放送データ放送使用料２５万円となっている。

（質問４）②

ホームページの検索機能強化、アイコン内の充実を図ってはどうか。

（答弁）藤髙総務課長

改善を検討し、必要な情報をより取得しやすい媒体となるよう努めていく。

（質問５）子育て環境について

育児の負担の軽減や、子ども体調についての不安解消のため、小児科医とオンラインで相談できるシステムの導入を検討してはどうか。

（答弁）朝野子育て支援課長

夜間・休日の子どもの急な病気やけが等の相談は、徳島こども医療電話相談（＃８０００）がある。小児科オンライン相談システムは、気軽に小児科医に相談できる仕組みだが、急な相談対応には向いていない面もあるため、導入については、もう少し詳しく研究し、考えたい。

（質問６）給食センターについて

本年度より調理、配送業務を直営から委託に変わったが、業務に問題点などはないか。

（答弁）亀井給食センター所長

今までとおり、学校給食衛生管理基準に沿って給食提供を行っている。

委託事業者については、衛生専門員や業務指導員による定期巡回や衛生研修会、さらに独自のマニュアルやルールをもうけ安全に配慮している。

今後も、栄養教諭や管理栄養士、委託事業者と連携し安全、安心な給食の提供に努めていく。

（質問７）ふるさと納税について

本年度はふるさと納税業務を外部委託しているが、現時点での現状と納税額を聞きたい。

（答弁）藤髙総務課長

令和４年４月～１１月までのふるさと納税は、４８７件で５９８万５千５百円となっている。

（質問７）②

業務のＰＤＣＡサイクルを早く行い、年度内でのスピーディーな対応が増額につながると考えるが、見解はどうか。

（答弁）藤髙総務課長

委託業者の担当者より毎月報告があり、状況の把握や改善点等の協議を行

っている。返礼品の新商品の追加や定期便の新設など対応できるものはすぐにサイトに登録している。

橋本典幸議員

（質問１）転入された方々への新たな提供品

転入される方に災害対応への意識向上のため、防災非常食の提供。また、空撮映像を盛り込む町の紹介ビデオを作製し、提供するのは如何か。これは各小学校の教材としても有効である。

（答弁）大西危機情報管理課長

新たな提供品等は、今後長期に渡る対応のため検討していきたい。

（答弁）藤髙総務課長

平成２６年度に四国大学と協働し町施設の紹介動画を作成し、平成２７年度には、ドローンによるチューリップ公園の空撮動画を作成し公開している。全国の事例も参考とし、製作した動画も活用しながら、小学校の学習教材にも繋がるよう検討していきたい。

（質問２）遠足・修学旅行の誘致

町は多彩な企業・工場と共存している。それぞれの運営状況を町内外の児童生徒の見学先として、遠足や修学旅行を誘致すべきである。企業や教育委員会など多くの仲介組織の協力を必要とするが、如何お考えか。

（答弁）中西まちみらい課長

児童・生徒へ魅力的な体験を提供できるよう、関係機関と協議しながら、町内企業の魅力をアピールできる方法を模索していきたい。

佐々木紀子議員

（質問１）町内のボランティア活動と道路の名称募集について

中学生との一般会議で環境やボランティア活動についての質問に答えた。

現在、本町では毎年どのようなボランティア活動を募集しているのか。

（答弁）片岡建設課長

建設課では「北島町アドプト事業」を実施し、住民有志による公共施設の清掃などを行っていただいている。今年度は１０団体１１１名の参加があっ

た。

（質問１）②

フジグラン前の道路から北村までの直線約４㎞を町内小中４校で、除草作業を行ってはどうか。

（答弁）片岡建設課長

町内でも一、二を争う交通量の多い道路で危険も伴うため、児童生徒のボランティア活動としては課題が多い。安全面を考慮し最良な活動を考えたい。

（質問１）③

このメイン道路に町内の小中学生から名前を募集し、親しみのある町道にしてはどうか。

（答弁）片岡建設課長

道路への名称を付けることが「自分の住んでいる町を綺麗にする、好きになる」といったことにもつながるよう検討していく。

（質問２）妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援について

妊娠時から出産･子育てまで一貫した伴走型相談支援の充実を図ることについて、厚生労働省の出産・子育て応援交付金事業の概要について熟知しているか。

（答弁）朝野子育て支援課長

妊婦・子育て家庭に寄り添いながら面談や継続的な情報発信を行い、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実と、経済的支援を一体的に実施していく。

（質問２）②

子育て世代包括支援センター「にこふわ」を相談拠点として出産後の「こんにちは赤ちゃん事業」を今後どのように展開していくか。

（答弁）朝野子育て支援課長

事業の概要を踏まえ、定期的な面談等の機会や各種事業の充実を図っていきたい。

（質問２）③

様々な理由から支援が必要な「特定妊婦」への支援は、どのようなものか。

（答弁）朝野子育て支援課長

保健師が電話や家庭訪問等で、寄り添って相談しやすい関係作りをし、安心して子育てが出来るようにきめ細かい対応を行っている。

（質問３）町内設置のＡＥＤの更なる活用について

傷病者が女性でも、ためらわずＡＥＤを使用できるよう、公共施設内のＡＥＤボックス内に三角巾と使用方法を配備してはどうか。

（答弁）大西危機情報管理課長

町で備えるＡＥＤの収納品には、タオルが備わっている。もしもの時は自らの衣類や付近の応援の協力なども含め検討していく。

（質問３）②

中学生が、心肺蘇生やＡＥＤについての正しい知識を持つことで、人命救助の大きな手助けになると考える。中学校における指導や助言の現状はどうか。

（答弁）森本教育委員会事務局長

ＡＥＤの操作が目標となっているが、コロナ禍で現在は教員が実物を提示して授業している。また、いざという場面に勇気をもって対処できる力も同時に育みたいと考えている。

（質問３）③

町内事業者へ全国ＡＥＤマップへの登録促進や、ＡＥＤ設置の協力状況はどうか。

（答弁）大西危機情報管理課長

町施設のほかに、町内では約５０個のＡＥＤが設置されている。さらに多くの場所で設置されるように、全国ＡＥＤマップ情報で検索が可能なことも含めて広報などで呼びかけしていく。

（質問４）火災被災者への支援情報の作成について

近年、増加傾向にある火災件数について、現在、本町での被災後の各種手続き案内について聞きたい。

（答弁）大西危機情報管理課長

現地で状況を把握し、町長をはじめ関係部局と情報を共有し、被災者へ各種手続きや対応などを伝えている。

（質問４）②

火災に遭われた方へのご案内冊子を作成してはどうか。

（答弁）大西危機情報管理課長

案内冊子は現在備えていないため、作成を検討したい。

武山光憲議員

（質問１）町民からの町の魅力発信について

移住の点から町の活動状況、魅力や住環境等をＳＮＳで発信、また町報等に投稿していただく書き込み体制を考えてはどうか。

（答弁）藤髙総務課長

移住・定住・企業誘致などを促進するため、他市町村の取り組みについて調査研究し、本町の魅力が伝わる情報発信に努めていく。

（質問２）節電ポイントについて

この冬電力各社が実施する節電プログラムで、利用者の節電量に応じて政府の支援策がある。本町における状況はどうか。

（答弁）藤髙総務課長

法人等向けの「節電プログラムグラムＢｉｚ２０２２冬」にエントリーしている。総合庁舎では、空調設定２０度を目安とした温度管理など省エネに取り組んでいる。町民・事業者の方々も無理のない範囲で協力をお願いしたい。

（質問３）歩車分離式信号の検討について

先般、町民から町内交差点における安全対策の要望が提出された。全国で導入されている歩車分離式信号の導入を要望してはどうか。

（答弁）片岡建設課長

徳島板野警察署及び県へ要望書提出の際に、改善案のひとつとして歩車分離式信号の導入も提案している。今後も粘り強く要望や協議を重ね、安全対策実現に向け取り組んでいく。

（質問４）隠れ待機児童について

保育所等に通っていない無園児と、希望園に入園できない保留児童の人数は把握できているのか。

（答弁）朝野子育て支援課長

今年４月時点の待機児童はゼロで、保留児童は１０人であった。また、無園児について把握できる限りでは、０歳から２歳児が約２３０人、３歳から５歳児が約５０人とみている。

（質問５）災害時の飲料水、快適トイレの運用について

災害時での一番の課題であるトイレの対策と、飲料水の確保として給水袋の運用について聞きたい。

（答弁）大西危機情報管理課長

トイレの備えについては、各自での備えや避難所でのルールや設置・使用要領など、啓発や訓練を進めていく。

飲料水については、小中学校・防災公園・浄水場で給水袋の備蓄をしている。今後も順次追加しながら備えていく。

（質問５）②

町ホームページの防災にアクセスするとすべての項目が一覧で分かりやすく確認できるよう早急に対処願いたい。

（答弁）大西危機情報管理課長

ホームページは、掲載内容が多いため分類と表示の工夫、またマップの表示の仕方も再検討していく。

（質問５）③

休日には公共施設内のＡＥＤが利用できないため、公共施設のＡＥＤの設置を、屋内から屋外に移動させてはどうか。

（答弁）大西危機情報管理課長

県下でも屋外設置を進めている事例があるので参考にしたい。

（質問６）デジタル教科書の影響

文部科学省の実証結果では、デジタル教科書の使用後に、目や首、肩の疲れや痛みを訴える児童生徒がある。また５割を超える教員が使わない週もあると回答している。北島町の小中学校での状況はどうか。

（答弁）森本教育委員会事務局長

小学校では主に国語算数で、低学年は週に最大１２時間、高学年は最大２０時間、中学校では英語で毎週１時間以上使用している。健康面にも十分注意しながら授業に取り入れていく。

（質問７）中学卒業後、学校から子どもへの発信について

ヤングケアラーについて中学校卒業後は接点がなく、状況が把握できない。卒業後、年２回ほど、電話・メールを送っている教育委員会もある。学校とも協議してはどうか。

（答弁）朝野子育て支援課長

教育委員会等と連携して現状把握に務め、地域の実情を踏まえ、支援に結びつける事業を進めていきたい。

（答弁）森本教育委員会事務局長

卒業後も、悩みを一人で抱え込まず相談できる場所であることを在学中に教えていきたいと考える。

板東泰史議員

（質問１）北見市を視察して

マイナンバーカードの手続きで住民課の窓口が混雑している。待合場所の椅子の増設と整理券発行機の導入を提案したい。

（答弁）藤田住民課長

椅子の増設や受付順番案内が可能な発券機を早急に取り入れ、よりスムーズな窓口づくりを進めていく。

（質問１）②

議会で北見市を視察した際、北見市職員の名札は字が大きくて離れてもよく見えたが、本町の名札は字が小さい。名札について規定はあるか。また、吊り下げ式で裏返りも考慮し、両面使用すべきではないか。

（答弁）藤髙総務課長

名札において、町章や文字のポイント、配列等について規定はない。令和５年４月から、全職員の名札を分かりやすく見やすいように変更するよう準備したい。

（質問２）卒業アルバム制作について

卒業アルバムの制作に手間がかかると聞くが、本町も担任が製作に携わっているか。

（答弁）森本教育委員会事務局長

卒業アルバムの制作は、現在、教職員が行っている。

（質問２）②

児童生徒の登場機会を同じくするよう、近年ではＡＩを利用して組み合わせを選ぶことも可能らしいが、導入されているか。

（答弁）森本教育委員会事務局長

ＡＩを使った業務負担軽減策は、写真の選定だけでなく業務効率化に向け検討をしていきたい。

（質問３）チームオレンジの整備

厚生労働省は２０２５年までにチームオレンジと呼ばれる認知症対策の組織を各市町村に整備するよう求めている。令和２年の調査では、県内で３組しか組織されていないが、本町における取り組みはどうか。

（答弁）亀田地域包括支援センター所長

今年度は、認知症サポーター養成講座の他、認知症の方やご家族、認知症サポーターが中心となりオレンジカフェなどを開催した。認知症になっても、自分らしく暮らせるよう、引き続き認知症地域支援推進員とともに、取り組んでいく。

伊勢政二議員

（質問１）排水路の水草除去清掃について

水草が一面に繁殖している排水溝が、各所で見受けられる。頻繁に水草を除去するか、排水溝に蓋を設けるか、いずれかの対策を講じることを提案したい。

（答弁）片岡建設課長

これまで以上に水路のパトロールを強化し、水草の早期発見・撤去を徹底し、水路環境の向上に努めていく。

（質問２）窓口サービス改善について

役場の窓口に来場された町民の方を待たすことなく、短時間で窓口手続きが行えるように、北見市方式に近いような事務手続きを構築する努力をしていただきたい。

（答弁）藤髙総務課長

北見市の「書かないワンストップ窓口」を参考としつつ、本町としてベストな窓口のあり方を検討し取り組んでいきたい。

（質問３）高齢者家庭の手すり設置について

独居の高齢者から家庭内でも何かにすがらないと移動が難しいと相談を受けた。一人暮らしの高齢者を支援するため、家庭内に手すりを設置する補助金制度を設けることを提案したい。

（答弁）井住健康保険課長

介護保険制度において、手すりの取り付けや段差の解消などを行った場合は、居宅介護（予防）住宅改修費が支給される。介護サービス利用には、要介護（支援）認定を受ける必要があり、認定の申請等は地域包括支援センターに相談いただきたい。

（答弁）粟田社会福祉課長

身体の虚弱化により日常生活での介助が必要な高齢者の方には、手すりの設置など住宅改造に要する経費の一部を助成している。介護保険による給付対象となる場合はその額を控除し算出するなど諸条件があるため、お問い合わせいただきたい。

（質問４）ドーム体育館改修について

中国・四国・九州地域リーグに徳島勢として徳島ガンバロウズが初めて参戦している。年間に何回かは、地域の体育館での試合を予定しており、ＹＧＫドームも含まれているが、アリーナ観覧席の修繕や、バスケットゴールのリングの補修をする必要がある。町民のためにも設備の不備は正常にしていただきたい。

（答弁）森本教育委員会事務局長

アリーナ観覧席及びバスケットゴールのリングについて、プロバスケットリーグの基準を満たすよう、来年度当初予算に費用を計上し、改修を実施したいと考えている。

増谷禎通議員

（質問１）健康福祉問題について

新型コロナウイルスの感染者数は一向に収束する状態にない。厚生労働省認定の検査キットを家庭に常備するよう、町として検査キット補助金創設が

できないか。

（答弁）井住健康保険課長

現在は、検査キット購入費用についての補助を行う予定はないが、徳島県ではワクチン・検査パッケージ等検査促進事業として、登録医療機関や薬局での検査を無料で提供しているので、活用いただきたい。

（質問１）②

８０歳までに３人に１人の割合で発症する帯状疱疹予防のためのワクチンは、接種費用が２～３万円かかるため、費用の補助ができないか、町長の見解を求めたい。

（答弁）井住健康保険課長

帯状疱疹ワクチンの接種は任意の接種に位置づけられており、今後、国の動向等を踏まえ、適切に対応していきたい。

（質問２）防災施設問題について

江尻防災施設に、地域の代表者の許可を得て、子ども食堂に使用する、机、椅子、テントなどを保管していたが、危機情報担当者から撤去を求められた。災害発生時にも使用可能なものであるが、保管許可はできないのか。

（質問２）②

子ども食堂の荷物を保管するため、お宮の敷地に倉庫を建てることを総代会に諮っていただいたが、総代の一部から反対の声も出ている。北島町として防災倉庫の一部を開放していただけないか検討いただきたい。

（答弁）大西危機情報管理課長

災害時に活用できる物資の共有は、町としても有り難いと考える。収容については施設利用関係者と協議を図りながら、連携を進めていきたい。

（質問２）③

防災倉庫の管理のために、倉庫扉に、地域自主防災責任者名を明記し、防災用品収納時にはリスト表を作成し、説明すべきであると考えるが、どうか。

（答弁）大西危機情報管理課長

地域の方々と協議しながら、分かりやすい表示や、情報共有について対応していきたい。

（質問２）④

現在、自主防災組織で防災用品の保管に個人の農業倉庫などに便宜上保管されている箇所は何件あるか。

（答弁）大西危機情報管理課長

便宜上保管している組織は５団体ある。

（質問２）⑤

地域自主防災組織は何件あり、その内、防災用品の保管倉庫のない組織は現在何件あるのか。

（答弁）大西危機情報管理課長

現時点の自主防災組織は合計４９団体あり、そのうち倉庫を持たない組織は７団体ある。

（質問３）中学生国際交流問題について

新型コロナウイルス感染症は、中学生の国際事業にも影響している。来年度の国際事業は開催できるのか。

（答弁）森本教育委員会事務局長

令和５年７月下旬から８月上旬にオーストラリアで研修を行うよう準備を進めている。今後、感染状況等を鑑み、参加者の安全を第一に考え、慎重に判断していきたい。

（質問３）②

カナダの国際交流事業では、アールマリオット校との姉妹校締結や授業出席、学校間相互交流を実現させてきたが、オーストラリアに変更されて１回も開催できていない。オーストラリアでの学校相互交流などの計画はあるのか聞きたい。

（質問３）③

学校間相互交流は、中学校全体の生徒の交流や、ホームステイ受け入れ家庭にも国際交流の恩恵をもたらすことができる。私は絶対にやるべきであると考えるが、答弁を求めたい。

（答弁）森本教育委員会事務局長

オーストラリアでの交流事業は、コロナ禍以降、３年間開催できていない。今後、オーストラリアでの研修を重ね、関係性を深めながら、姉妹校締結や学校間相互交流に向け一歩一歩進めていきたい。

（質問４）教育問題について

来年度のひょうたん夏祭りの実行委員会でも提案したが、竹宮恵子氏の漫画作品の個展と講演会を中学校で開催してはどうか。

（答弁）森本教育委員会事務局長

竹宮恵子氏の関係者と協議のうえ、中学生はもちろん広く一般の住民にもご覧いただけるよう町全体として場所や方法を検討していきたい。

（質問４）②

プラスチックごみ減量のために、学校給食の牛乳を紙パックから直接飲むようにしたと聞く。北島町も検討してはどうか。

（答弁）亀井給食センター所長

本町では、令和４年４月よりストローレスパックで提供している。各校の実態に応じ、発達段階や支援の必要な児童生徒、また衛生面も考慮しながら検討、実践をしているところである。

（質問５）子ども食堂と子ども環境問題について

国の発表では、学校でいじめられている生徒が６０万人超、不登校生が２０万人と発表されている。非常に深刻な状況である。抜本的な対策は検討されているのか。

（答弁）森本教育委員会事務局長

本町では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用し、教育相談体制の充実を図るとともに、学校現場ではアンケートや家庭訪問、教員と児童生徒間の連絡帳等で実態把握に努めている。

（質問５）②

中学生の自殺者も増えていると発表している。北島町における、相談窓口体制や予防についてどのような対策がとられているのか。

（答弁）井住健康保険課長

自殺予防については、身近な人の気づきが最も重要になると考える。電話やＳＮＳ相談など様々な相談窓口について、今後も広報を通じて広く周知していきたい。

（質問５）③

こども家庭庁でも、子ども食堂開催の支援事業が考えられていると聞く。

組織として発展させる必要があると思うが、町として支援の考えはないか。

（答弁）朝野子育て支援課長

子ども食堂を開催されている方々と連携し、行政の目では発見することができない支援を必要とするご家庭を、ともに支援ができればと考える。国の動向も注視し、行政ができる支援体制を整えていきたい。

（質問６）清掃事業について

リチウムイオン電池の火災が多発していると聞く。北島町でのリチウムイオン電池などの収集はどうしているのか聞きたい。

（答弁）藤田清掃センター所長

本町では、粗大・不燃ごみ置場に直接持ち込むか、回収依頼の申込により、回収に伺う方式としている。これまで以上にリチウムイオン電池の出し方や処理方法などを広報し、安全な収集体制に努めていく。

（質問６）②

新聞報道で、広域ごみ処理施設事業で徳島市が脱退したと報道されている。私は、早くから生ごみのバイオ処理と民間による焼却処理を提唱してきた。いずれにしても早急に検討すべきと思うが町長の見解を求めたい。

（答弁）藤田清掃センター所長

本町の焼却施設は老朽化が進み、耐用年数も大幅に過ぎている。他市町との連携、焼却施設の大規模修繕、バイオ処理と民間による焼却の組合せなど、あらゆる方向から調査・研究し、よりよい方法を模索・検討していく。

（質問７）デジタル化と回覧板の廃止問題について

社会はデジタル化が進み、メールやＬＩＮＥで瞬時に情報伝達ができるようになっている。ホームページや町報に連絡欄を設けて広報し、回覧板は廃止すべきであると考えるが、どうか。

（答弁）中西まちみらい課長

回覧板は衛生組合内の情報伝達が目的であるため、今後、担当課とも協議のうえ連合会の役員会等で意見を聴き、よりよい形での情報周知を行うことができるよう、取り組んでいきたい。